

事 務 連 絡
令和 7 年 5 月 7 日

都道府県
各 介護保険担当主管部（局） 御中
市 町 村

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課

令和 7 年度経済産業省事業オレンジノベーション・プロジェクト
に関するオンラインセミナーのご案内について

介護保険行政の円滑な実施につきまして、日頃からご尽力並びにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、認知症になってからもできる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、経済産業省と共に日本認知症官民協議会において、認知症バリアフリー社会の実現に向けた取り組みを推進しているところです。

この度、経済産業省において、別紙のとおり「オレンジノベーション・プロジェクト」に関するセミナーを、自治体・当事者団体・介護事業者等の皆様を対象として開催することとなりましたので、お知らせします。

つきましては、標記セミナーについての関係機関等への周知のご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年5月7日

都道府県
市区町村

認知症施策

ご担当御中

オレンジイノベーション・プロジェクトに関するセミナーのご案内

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

弊社では、経済産業省の令和7年度「ヘルスケア産業基盤高度化推進事業（地域におけるヘルスケア産業推進事業）」を受託しており、認知症に関する取組や介護領域におけるビジネスケラーの支援、公的保険外サービスの振興の検討等、様々な取組を実施しております。

このたび、上記事業の一環として、「オレンジイノベーション・プロジェクト」(※)に関するセミナーを開催すること、ご案内申し上げます。

オレンジイノベーション・プロジェクトでは、認知症の人にとっても使いやすい製品・サービスの開発や認知症の人の社会参画を促進することを目的とし、認知症当事者と企業が共創して製品・サービスの開発を行う取組を進めております。

昨年度は認知症当事者と企業46社が共創し、認知症当事者の方からは欲しいものが入手しやすくなることは勿論、「開発に参画することで、社会とのつながりを保てていると感じる」・「自分自身が必要とされている気持ちになる」等といった前向きな声をいただいております。そのような声を受け、本取組をさらに継続・拡大するため、より多く・より多様な当事者の方にご参画いただきたいと考えております。

本取組の詳細や昨年度協力いただいた自治体・介護事業所での事例の紹介等について、自治体をはじめとし、認知症地域支援推進員や若年性認知症支援コーディネーター、地域包括支援センターの御担当者様、介護事業所の職員様等、日頃から当事者とともに活動している・支援している方向けのセミナーを下記及び別紙のとおり開催いたします。お忙しいところ恐れ入りますが、地域包括支援センターや管内介護事業者等へも広く周知いただき、奮ってご参加いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

※特設サイト：[オレンジイノベーション・プロジェクト ～認知症当事者をつくる、誰もが生きやすい社会～ \(dementia-pr.com\)](https://dementia-pr.com)

敬具

【お問い合わせ先】

メールアドレス：200010-dcp@ml.jri.co.jp

株式会社日本総合研究所

リサーチ・コンサルティング部門 高橋、岩附、石塚、福谷

記

1 開催概要

- 日時：令和7年5月20日（火曜日）13時～14時
- 開催方法：zoom ウェビナー
 - <https://us06web.zoom.us/j/85901567534?pwd=0lXLK7jtGFiF8qpguhLGb8PXyJWbn2.1>
ID: 859 0156 7534
Pass : 202183

2 申込方法

- 事前の申込手続き等は不要です。事後アンケートにてオレンジイノベーション・プロジェクトへの協力のご意向についてご回答をお願い致します。
- ご都合がつかない場合でも、アーカイブ動画を共有すること等も可能ですので、ぜひ下記メールアドレス宛にご連絡いただけますと幸いです。
 - 件名：【当事者参画型開発_パートナー団体向けセミナー】出欠（〇〇県〇〇市町村）」
 - 本文：①都道府県・市町村名
②ご所属部署名
③御担当者の氏名
④連絡先（電話番号・メールアドレス）

- 別紙
- 令和7年度経済産業省ヘルスケア産業基盤高度化推進事業（地域におけるヘルスケア産業推進事業）
- 共生社会の実現に向けた認知症当事者×企業の共創
オレンジノベーション・プロジェクト セミナーのご案内
- 経済産業省では、「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける」ことのできる共生社会の実現に向け、当事者の真のニーズに合致する製品・サービスの創出のため、当事者と企業が共創する「オレンジノベーション・プロジェクト」の普及に取り組んでいます。
 - 製品・サービスの開発段階から、当事者が主体的に参画することにより、当事者にとっては、自らが「ほしい」と思うものが形になって利用できる可能性があり、企業にとっても潜在的な利用者・顧客のニーズを把握して開発ができるメリットがあると考えています。
 - 日頃から当事者を支援している皆様（自治体・当事者団体・介護事業者等）を対象としたセミナーを開催予定です。
 - 認知症の人の社会参加にご関心をお持ちの自治体・地域包括支援センターのご担当者様、認知症地域支援推進員、若年性認知症支援コーディネーターの方、介護事業所の職員様等、ぜひご参加ください。

※本取組は、認知症イノベーションアライアンスワーキンググループの取組の一環として実施しております。

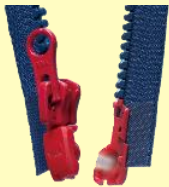
実施日	2024年5月20日（火） 13:00-14:00
開催方法	Zoomウェビナー 【ID】859 0156 7534 【Pass】202183 https://us06web.zoom.us/j/85901567534?pwd=0IXLK7jtGFIF8qpguhLGb8PXyJWbn2.1

時間	題目
13:00-13:05	開会挨拶
13:05-13:15	オレンジノベーション・プロジェクトの事業説明
13:15-13:30	パートナー団体の実践事例① 神奈川県大和市（自治体）
13:30-13:50	パートナー団体の実践事例② 池上長寿園（介護事業者）
13:30-13:55	質疑応答
13:55-14:00	事務連絡・閉会

当事者と企業の共創により開発された製品・サービス（一例）

YKK株式会社

誰でも開け閉めがしやすいファスナー



アデッソ株式会社

日付・曜日の表示が大きい
「デジタル日めくりカレンダー」



株式会社コスモテック

いつでもどこでもメモができ、自然に目に入
って思い出せる、手首に巻きつける
“身につけるメモ帳”「wemo」



出典：経済産業省「日本認知症官民協議会 認知症イノベーションアライアンスワーキンググループ 2024年度 第2回 資料3」

参画した当事者からの声（一例）

- 自分の経験を企業の製品・サービスの開発に役立ててもらうことで、社会とのつながりを保てていると感じた。
- 認知症当事者である、自分自身が必要とされている気持ちになるし、自分の生活をより豊かにするためにどのような製品が必要なのか改めて考えるきっかけにもなる。
- 企業の開発に自分が関わったことで「商品ができた、会社が変わった」という事実が非常に嬉しい。

お問い合わせ先：email：200010-dcp@ml.jri.co.jp
株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門（担当：高橋、岩附、石塚、福谷）